ハイパスフィルタ・35–1100 MHz

阻止域減衰量・≥35 dB (DC–20 MHz). 筐体寸法 (10 ± 0.2) × (7.5 ± 0.2) × (4 ± 0.3) mm.

RF 特性

項目	値
通過帯域	35–1100 MHz
通過帯域内挿入損失 [1]	≤2.2 dB
阻止域減衰量 [2]	≥35 dB
VSWR [1]	≤1.6:1

[1] 35–1100 MHz
[2] DC–20 MHz

設計定格 設計値

項目	値
許容電力	1 W
動作温度	−40...+70 °C
保存温度	−55...+85 °C

代表実測応答

周波数 (MHz)	S11 VSWR	S22 VSWR	S12 損失（dB）	S12 抑圧（dB）	S12 遅延（ns）
1	207.17	98.17	-60.14	-60.14	8.56
87	1.11	1.04	-0.36	-0.36	2.16
172	1.04	1.02	-0.17	-0.17	0.71
258	1.05	1.05	-0.14	-0.14	0.43
344	1.06	1.07	-0.1	-0.1	0.32
429	1.08	1.1	-0.12	-0.12	0.3
515	1.11	1.13	-0.13	-0.13	0.29
601	1.13	1.15	-0.09	-0.09	0.28
686	1.15	1.18	-0.17	-0.17	0.25
772	1.18	1.21	-0.18	-0.18	0.24
857	1.23	1.29	-0.34	-0.34	0.1
943	1.27	1.3	-0.34	-0.34	0.15
1029	1.35	1.35	-0.51	-0.51	0.19

代表実測応答

周波数 (MHz)	S11 VSWR	S22 VSWR	S12 損失（dB）	S12 抑圧（dB）	S12 遅延（ns）
1114	1.42	1.44	-0.47	-0.47	0.31
1200	1.45	1.48	-0.6	-0.6	0.4

機械仕様

項目	値
実装方式	表面実装
品質グレード	産業用
筐体寸法	(10 ±0.2) × (7.5 ±0.2) × (4 ±0.3) mm
パッケージRF端子の内縁間隔	8.8 mm
基板RFランドの内縁間隔	8.6 mm
対向するクリアランスの内縁間隔	7.2 mm
短辺方向のクリアランス開口幅	2.6 mm
パッケージRF端子幅	1.0 mm
基板RFランドの短辺方向幅	1.2 mm
パッケージRF端子の切り欠き径	Ø0.6 mm

実装とプリント基板レイアウト

底面視では、入出力を入れ替えられる2つのRF端子が対向する短辺の中央にあります。底面の斜線部はGNDです。基板中央寄りの各RFランドに50 Ω給電線を配線し、グラウンド銅箔との間隔を確保してください。フットプリントの周囲と下にグラウンドビアを設けてください。 推奨基板レイアウトには、誘電体厚0.254 mmのRO4350Bを使用します。 独立したキャビティへの実装を推奨します。十分な接地を確保するため、可能な限りパッケージの側面、上面および底面をアセンブリの金属筐体に密着させてください。接地が不十分だと阻止域の抑圧が低下します。220 °Cでのリフローはんだ付けに対応します。清掃時はフィルタを洗浄液に浸さず、表面のみを清掃してください。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。